

父母の会ニュース

神戸市重度心身障害児(者)父母の会

第199号

発行: 令和元年10月20日
責任者: 武田 純子
TEL: 078-335-8508
FAX: 078-335-8509
URL: kobe-jyushin.com
E-mail: hubonokai6530@iaa.itkeeper.ne.jp

日々の活動の中で

会長 武田 純子

この度は最大級といわれる台風19号が日本列島猛威を震いました。

大切なご家族を失われた方々には心よりお悔みを申し上げます。

また、甚大な被害をうけられた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

大きな河川が氾濫し逃げ場のない光景を目にするにつけ自然災害の大きさに恐怖を覚えます。

その中で唯一、明るい話題で救われましたのが、「笑顔がいっぱい詰まっているリチウムイオン電池」の発明者というニュースでした。ノーベル化学賞を受賞された、人間味あふれる「吉野 彰さん」の人柄が私たちにも伝わり日常的に使用されている物だったんだと認識できる機会ができました。

私事になりますが、畏れ多くも先般、神戸市社会福祉大会におきまして神戸市市民福祉顕彰功労賞を拝受いたしました。普段は会場からステージを見上げながら畏敬の念を込めて拍手を送っていたのですが、よもや・・・自分に？とは思ってもよらず、身に余る光栄な賞であることや今日まで支えて下さった沢山の方々に改めて感謝とお礼を申し上げます。“ありがとうございました”

この分野に関わるきっかけを作ってくれた障害の息子はもとより、諸先輩の方々の大きな支えのもと『神戸市重度心身障害児(者)父母の会』の親の立場で、神戸市に提言できる場があること、一緒に活動できる仲間がいること等が本当にありがたい事だと感謝しております。

吉野 彰さんは「実るほど頭(こうべ)を垂れる稲穂かな」という教訓を大事にしていると聞きましたが私も好きなことばです。この教訓の意味を心に刻んで活動して参ります。

当会は要望書を毎年神戸市へ提出しますが、今年も「災害時における要援護者への適確な対応」という項目を第一に掲げております。災害時の対応のマニュアルづくりと共に福祉避難所等の確保は検討しつつあるようです。

この度の災害で重度の障害を持つ家族がどれだけ困難に遭われ、どのような救済を受けられたかはほとんど報道されておりませんが、阪神間でこれから発生するかもしれない今回のような未曾有の災害はいつ襲来しても不思議ではない時期に来ているのだということを感じました。地球温暖化の一番の犠牲者が障害者にならないようにしなければなりません。

要望書提出

令和元年8月22日(木)神戸市役所1号館ロビーに集合し、武田会長以下理事、じゅうしん須磨寺の橋口事務局長と合わせて8名が神戸市保健福祉局障害者福祉部障害者支援課奥谷課長と藤原係長のお二人に昨年までの要望を見直し、『じゅうしん父母の会』会員である重度障害者の親の厳しい状況と切実な要望に加え、防災について伝えました。



要 望 書

1. 災害時における要援護者への適確な対応

重度の障害児(者)が安心して避難できるような救援体制を早急に整備

地域において障害児(者)とその家族が混乱しない、早い初動誘導および避難場所の明示

2. 重度障害児(者)の在宅医療の充実

(1) 重度障害児(者)の在宅医療の充実を図る

(2) 重度障害児(者)の入院設備の充実させてください。

3. 機能訓練の場の確保

地域にある老健施設のリハビリステーションを利用することができる
訪問リハビリが使いやすいような制度

4. 重度障害児(者)のショートステイ受け入れ先の確保および送迎の必要性

(1) 地域の高齢者施設で重度障害児(者)のショートステイを利用できる

(2) 遠隔地にある施設まで送迎に移動支援サービスが使える

(3) 施設では、ショートステイの送迎の体制を考慮してください。

(4) 土曜日、日曜日、祝祭日及び緊急時の受け入れ体制を充分にする

5. 地域に障害者の見守り基地を設置

地域のコンビニエンスストアを、介助者だけでは困る場合の手助けを頼める基地に

6. 窓口担当職員の丁寧な対応と的確な事務処理

7. 施設職員の障害者への人としての対応

8. 各区の地域の障害者地域生活支援センターの相談機能を充実

令和元年度神戸市市民福祉顕彰功労賞受賞者に 武田純子会長が選ばれました

【受賞理由】

- ・ 重度心身障害児(者)父母の会での活動を昭和 60 年から開始し、平成 26 年からは会長を務めるなどの障害を持つ子どもの家族への支援の輪を広げる活動
- ・ 平成 14 年には NPO 法人にじのかけ橋を設立し、生活介護事業や居宅介護事業を通じて障害者の日中活動の場を提供し、平成 31 年 4 月には、重度障害児対象の放課後等デイサービス事業所を立ち上げ、積極的に障害児者の支援に尽力
- ・ 障害福祉計画を策定するための神戸市障害者施策推進協議会の委員を長らく務め、神戸市療育ネットワーク会議の委員にも就任している

〔神戸市発表より要約〕

市制 130 周年記念

市政功労者表彰受賞者に池田希美枝前会長が選ばれました

【受賞理由】

神戸市重度心身障害児(者)父母の会会長などを歴任し、在宅の重度心身障害者の自立と、確かな生きがいつくりをすすめる、障害者が安心して暮らせるまちづくりに取り組むなど、地域福祉に多大の貢献をされた

〔神戸市発表より要約〕

募集中

『父母の会ニュース』200号発行記念!!

父母の会ニュースは次号で200号となります。それを記念して思い出・感想・写真を募集します。
ご応募いただいた中から選択して、ニュース200号に掲載させていただきます。ぜひご応募ください!!

【募集要項】

1. 募集方法

お名前、ご住所を記入して、下記応募先まで、郵送、持参、または電子メールにてご応募ください。

2. 応募先

〒650-0016 神戸市中央区橋通3丁目4-1
神戸市重度心身障害児(者)父母の会
メール：hubonokai6530@iaa.itkeeper.ne.jp



じゅうしんの集い(楽しく体を動かそうⅡ)

今年度の交流イベントとして、卓球バレーを福祉センター1階の体育室で行いました。

29年度に、障害者スポーツ振興センターの職員さんのご協力を得て、ボッチャ・フライングディスク・卓球バレーを体験したところ、皆様に大変好評でした。

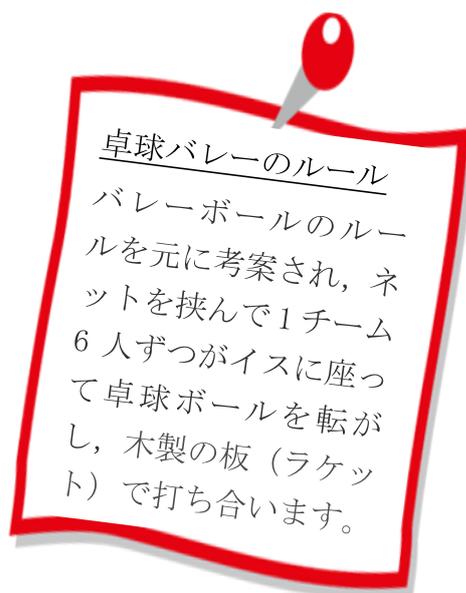
今年度は、卓球バレーのみにし、勝ち抜きにしたので、内容がよくわかり、皆さんも、力が入りゲームも盛り上がりました。

応援の方も、1球、1球に、勝てば喜び、負ければ残念と自分の事のように大きな声や、笑い声が出ていました。

午後の交流会でも、「楽しかった。」「親子で頑張れた。」「一種目だったのでルールがよくわかった。」「こういうクラブを作って欲しい。」などの感想が、聞けました。

決まったりハビリも大事ですが、自然に楽しく体を動かす機会が少しでも多くできる時間が作れたらと思います。

今回も障害者スポーツ振興センターの職員さん・福祉専門学校の学生さん・じゅうしん須磨寺の職員さんにご協力を得ました。運営がスムーズに事故もなく楽しくできました事、感謝いたします。



須磨支部懇親会と施設見学

昨春、会員から『西宮すなご医療福祉センター』の見学希望がありました。センターの改装工事などあり、小谷地(コヤジ)事務局長様と相談させていただき、9月19日(木)13:00から約2時間(説明が30分・見学が1時間・質疑応答)と予定をたてました。

他支部へも呼びかけ須磨支部から4名、他の支部から3名の参加がありました。駐車場が少ないと聞いていたので、阪神三宮駅で待ち合わせをし、阪神電車で最寄りの武庫川駅へ行きました。

駅前で武田会長と合流し、先ず昼食を兼ねた懇親会をしました。その後は田中院長先生と小谷地事務局長のお二人そろって見学・説明をしてくださいました。重度の障害を持つ人たちが、健やかに楽しく暮らせるようにセンター内に医療・療育・相談などが充実している環境だと思いました。

隣に兵庫医科大学病院があるので、すぐに対応していただけるそうです。神戸市にも緊急対応してもらえる病院の近くに医療福祉センターができればいいなあと思いました。現在、西宮すなご医療福祉センターは、武庫川氾濫に対応すべく改修工事をしておられました。



ホームページより引用

『西宮すなご医療福祉センター』は

昭和42年、全国で3番目に開設された重症心身障害児施設『砂子療育園』として、重い障がいをもたれる方々への療育を開始しました。その後、長い歴史の中で、障がいに対する社会の考え方の変化や、医療、福祉の進歩に合わせ、より質の高い医療と福祉サービスを総合的に提供する施設として、平成22年1月に『西宮すなご医療福祉センター』と改称し、新たに医療型障害児・者施設としてスタートしました。

当センターは180床の入所部門(医療型・療養介護型)と、外来診療・療育、リハビリテーション、生活介護および放課後等デイサービス(重症児)事業(『つばさ』)、短期入所、訪問看護・介護(『つくし』)、相談支援などを運営する地域支援部門をもち、地域に密着した総合医療福祉施設となっています。

(ホームページより引用)

西区障害者支援センターを見学しました!

西支部の行事として、6月28日(金)に西区障害者支援センターを見学してきました。西神の西消防署の隣、静かな環境の中に立地しており、平成30年12月にオープンし、神戸市社会福祉協議会が運営されています。

「親なき後」や「8050問題」などにも対応できるよう、『障害相談・見守り支援』『短期入所』『生活介護』という三つの事業を運営され、高齢者デイサービス施設であった西在宅福祉センターを改修してできた施設内には、

認知症対応型通所介護、えがおの窓口、あんしんすこやかセンターを併設。高齢者・障がい者の分野を問わず相談できるセンターです。

開設半年で利用者も少しずつ増え、特に緊急短期入所のニーズが多く、ロングになるケースでは関係機関と連携体制をとるコーディネート機能も有しておられます。

生活介護では、知的・身体・重複問わず受け入れられ送迎も全て行われています。短期入所中は、生活介護と上手く組み合わせて利用者のQOLを考えられ、特に『見守り支援』は障害福祉にはない制度ですが民生委員と連携して取り組み、神戸市全区にこうしたセンターの設置を進められているそうです。

見学会にはたくさんの会員が参加され、質問も活発に出ていました。見学後に短期入所の利用を始められた方もおられました。



正面玄関

西在宅福祉センター

◆西区障害者支援センター

- ひらのせいしん障害者地域生活支援センター
- 生活介護
- 短期入所

◆なでしこケアセンター

- 居宅介護支援事業所
- 認知症対応型通所介護 (なでしこデイホーム)

◆平野西神あんしんすこやかセンター

支部活動

中央支部

- 8/30 音楽療法
- 9/8、10/13 研修訓練会

兵庫支部

- 8/3 ハートン兵庫小学校 20名 交流会
- 8/21 役員会
- 9/12 ハートン兵庫区役所

須磨支部

- 9/19 西宮すなご医療福祉センター 施設見学

東灘支部

- 9/13 自立支援協議会くらし部会
- 9/13 支部役員会
支部日帰り旅行下見
- 9/30~10/4 福祉五団体作品展

灘支部

- 8/23、28 支部役員会
ふれあい体操の準備
- 9/1 ふれあい親子体操

長田支部

- 11月 レクリエーション

西支部

- 9/10 日帰りバス旅行
ぶどう狩り(神出)

こんにちは じゅうしん須磨寺 です！

青陽須磨支援学校で運動会を開催！

8月2日（金）の運動会、今年も青陽須磨支援学校の体育館をお借りして開催しました。恒例の「ドーナツ食い競争」「大玉転がし」に加え、今年は「ポッチャ」に挑戦。フォークダンスも初めての試みとなりました。
※下段左の写真は、先生（青陽須磨支援学校）対決。



グリーンリーフ音楽交流会

9月25日（水）、毎年恒例の行事、グリーンリーフ高倉（老健施設）との音楽交流会を行いました。



バザー中止で焼きそば作り

9月23日（月・祝）、参加予定の「おいでやすカーニバル」が警報解除が遅れて中止となったため、みんなで焼きそばを作って食べました。



日帰り旅行で海遊館に行きました！

10月4日（金）、日帰り旅行で海遊館に行ってきました。心配していた台風も進路がそれ、天気にも恵まれ、楽しい一日を過ごすことができました。



11～12月のバザー出店予定

11月4日（月・祝）

須磨教会バザー（千鳥幼稚園）

11月9日（土）

すましあ（須磨パティオ買い物広場）

11月30日（土）

いぶき祭（いぶき明生支援学校）

12月19日（木）

すまるしえ（須磨区役所）

※毎月20日・21日

お大師さん（須磨寺参道・新館）

※冬のギフト（区自立支援協）参加

「じゅうしん神戸（法人）」「じゅうしん須磨寺（事業所）」ご支援をお願いします

◎法人の会員になって支えてください 正会員：5,000円／年 賛助会員：2,000円／年
郵便振替口座：00990-7-254520 加入者名：特定非営利活動法人じゅうしん神戸

◎ボランティアとして支えてください お大師さんなどのバザー・昼食配膳・片づけ など

◆◆◆お知らせ◆◆◆

- ・10月6日(日)『こうべ福祉・健康フェア』(しあわせの村)に無事バザーで参加しました。
- ・10月29日(火)10:30～総合福祉センター4階会議室で『新会員と一緒に話す会』を催します。

◆◆◆会員の動き◆◆◆

【お願い】書き損じの官製はがきを「じゅうしん父母の会」へ提供してください。

避難場所や避難経路、確認していますか？

地球温暖化が今後進行した場合、さらに大雨の発生数は増加すると予測され、それに伴って台風も増加する傾向があるとされています。

いざ災害が起きた時にあわてずに避難するためにも、自宅はどんな災害が想定されるかをハザードマップで確認し、災害をイメージして、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう！

【医療・福祉現場における災害対策研修のご案内】

日時:11月2日(土) 10:30～15:00

場所:神戸市シルバーカレッジホール(神戸市北区しあわせの村内)

内容:①「北海道胆振東部地震ブラックアウトの経験から」、②「神戸市における災害対策について～情報登録書の活用～」、③「大規模災害発生！その時あなたはどう動く？」

主催:こうべ市民福祉振興協会、にこにこハウス医療福祉センター



申し込み不要・参加費無料

やっと日中の過ごしやすさを感じる季節になりました。

今年の夏は息子の体の成長が著しく嬉しい反面、私の体は悲鳴を上げています。

一番困るのは入浴です。そろそろ家族だけでお風呂に入れるのが大変になってきて、

そのことを広報部員のYさんに相談しました。『にこにこハウスでお風呂にいてくれるよ!』 な、なんと!?

その場でホームページを確認したところ【湯屋始めます】の文字発見! 料金や利用日の限定はありますが、これはありがたい!

しばらくホームページを見ないうちに他にも新しいサービスが始まっていました。

定期的に通っているとホームページを改めて見直すことがないので新サービスが始まっているのを知らなかったのです。

重心の方々とそのご家族に寄り添い要望を形にしてくれて少しでも私達の負担を軽くしようと頑張ってくれているにこにこハウスに改めて感謝です。

A. H